

# 智頭町小・中学校

# コミュニティ・スクールだより



令和6年10月18日

智頭町学校運営協議会  
地域コーディネーター

〃

〃

|    |       |
|----|-------|
| 会長 | 吉澤 太基 |
|    | 久本 知子 |
|    | 長石 彰祐 |
|    | 國岡 秀憲 |

## 9月20日 第3回 学校運営協議会報告

当日は中学校の公開学習日でもあり、はじめに学習を参観しました。生徒の学ぶ姿を見ることができました。

その後の全体協議では、小学校の学力調査の結果や児童・保護者アンケートの結果について説明がありました。児童は、授業中自分の考えをノートに書いたり友達に伝えたり、学習の振り返りを書く姿が育ってきており、家庭学習・図書館利用・黙読掃除・体力づくりにも成果が見られました。課題としては、時間を守る・廊下歩行・自分の良さに気づく・地域の人やボランティアの顔や名前を知ることがあげられました。中学校については、次回に学習状況などの報告があります。

その後、学校支援ボランティアについての進捗状況について報告を行いました。9月20日現在、小学校では129名、中学校では71名の方に協力していただいています。

来年度の学校運営協議会の運営についても今から話し合いを持ち、見直していくことになりました。次回の第4回学校運営協議会は、11月19日の予定です。

### (中学校) 生徒会の要望実現！！

昨年度、学校運営協議会委員と生徒会役員の話合いの中で、こもれびホール前の中庭に地域の方や生徒同士で語らうためのテーブルやベンチがほしいという生徒会役員の要望がありました。

その要望を向けて、最上真澄さん（地区公民館長代表）が中心となり、木材協会・森林組合・山本誠建築さんの協力を得て、ついにテーブル6個、ベンチ8個が完成しました。天気の良い日は、地域の方と一緒に中庭で給食を食べることができます。ご協力ありがとうございました。



### (小学校2年生) 町たんけん

今年度も町内のたくさんのお店や施設が快く見学させていただきました。児童は、初めて見るものやお店や施設で働く方のお話に興味津々。目を輝かせて見学をしていました。

町たんけんの2日間で延べ15人の学校支援ボランティアのみなさんに児童の安全を見守っていただきました。

ありがとうございました。

学校運営協議会全体テーマ「智頭（じげ）の子は 智頭（じげ）が育てる」

あいさつ部会テーマ 「あいさつは 大人の愛（あい）さっ やってみよう」

（裏面に続く）

### （那岐山登山）



コミスクでは町内のすばらしい自然を知ってもらいたいと学校の振替休業日に那岐山登山を計画しました。

9月30日は、あいにくの曇り空で、頂上からの視界は開けていなかったのですが、登り切った達成感は十分に味わうことができました。頂上では、お弁当を食べたりじゃんけん大会を行ったりして楽しい時間を過ごすことができました。山人塾、那岐山を守る会、ボランティアのみなさん、大変お世話になりました。

### （智頭町家庭教育講演会・智頭小PTA 人権教育講演会）

9月28日に鳥取県総合療育センター院長代理の小枝達也先生を迎え、子供の発達に関する知識と理解を深め、成長に合わせた適切な支援につなげるための研修会が開かれました。じげの子応援隊（学校支援ボランティア）のみなさんもたくさんの方が参加してくださいました。

### （校内児童預かり「ひまわり広場」）

授業参観から講演会、学年懇談会までの間、更生保護女性会5名のみなさんが学校図書館を会場として、校内児童預かり「ひまわり広場」を開いてくださいました。保護者の皆さんも安心して、参観したり、講演会や懇談に参加したりすることができたと思います。ありがとうございました。



### （「コミスク推進研修会」兼「地域学校協働活動研修会」参加報告）

10月1日、ハワイアロハホールを会場に、事例発表・パネルディスカッションがありました。発表校は、鳥取市立岩倉小学校、北栄町立大栄中学校、県立境港総合技術高等学校でした。岩倉小学校の主な取組は、学校運営協議会を年6回、チャレンジ教室、学校カフェを開催しているなどでした。学校カフェは、地域の方が気軽に集える場所であり、よいと思いました。

大栄中学校区では、人前でも自分の意見を言えるようになってほしいとの願いから「20年後の北栄町！」をテーマに白熱大討論会を行っていました。人前でも話せる子供が増えているという成果があり、併せてYouTu部がその様子を広く配信しており、ICT活用もできていました。

境港総合技術高等学校は、生徒が地域の特産品を活用した商品を地域コーディネーターである境港の企業の社長とコラボして、メルカリ Shops で販売出店していました。地域を宣伝することで地域を元気にすることができるとともに、自分たちの考えた商品が売れたり、境港にしながら全国へ発信できる喜びが味わえたりできるとしていました。

### （中学校2年生「チャチャチャプログラム」＜11月16日＞近づく！！）

「チャチャチャプログラム」開催の1か月前となりました。中学2年生と環境大学大学生20名、日ごろから生徒によく関わってくださっている地域の方20名が12グループに分かれ、事前に考えたテーマについて話をするというものです。活発な話し合いで将来への希望が持てたり大学生や地域の方との充実した交流の機会になったりすることを願っています。